

平成 28 年 10 月 13 日

副会長  
理事長・副理事長  
郡市柔道連盟会長  
中体連・高体連  
大学・警察代表者 様

埼玉県柔道連盟  
会長 中島 政司  
(公印省略)

## 重大事故発生と事故防止の啓発活動に関するお願い（再）

標記の件について、全柔連重大事故総合対策委員会より再度の事故防止・啓発活動の案内文が届いております。

案内文を熟読の上、各団体において事故防止対策の徹底を図り、重大事故発生の防止策の徹底をお願い致します。

### 添付資料

- 1 重大事故発生と事故防止の啓発活動に関するお願い（再）
- 2 柔道事故の特徴と対策および参考資料
- 3 重大事故・準ずる事件事例（平成 28 年度）

以上

全柔連発第 28 - 0441 号

平成 28 年 10 月 1 2 日

都道府県柔道連盟（協会）

安全指導員各位

重大事故総合対策委員会

委員長 野瀬清喜

（公印略）

## 重大事故発生と事故防止の啓発活動に関するお願い（再）

平素より、当委員会の活動にご理解、ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、7月28日付で標記のお願いを申し上げましたが、その後も事故が起こっており、8月には中学1年生による2件の頭部打撲事故が発生しました。これらは柔道固有の事故で「急性硬膜下血腫」によるものです。1件は事故発生前に頭痛を訴えていた事例でした。これに加えて「熱中症対策」「頸髄損傷」などの事故防止の啓発が行き届いていないことを懸念しております。

昨年は中学生、高校生による頭部外傷、熱中症による死亡事故が2件、後遺障害が残る頭部外傷、頸髄損傷が2件、計4件の重大事故が発生いたしました。本年は高校生の頸髄損傷による死亡事故、中学3年生の頭部外傷による事故、45歳男性の頭部外傷による死亡事故に8月の事故を加えると5件の事故が発生しました。

武道必修化を受けて「柔道の重大事故対策」による成果で、平成24年から平成26年の3年間は死亡事故ゼロ、その他の重大事故も激減いたしました。しかし、昨年から続く重大事故の多発で、「柔道の安全は必修化以前に戻ってしまった」との声も聴かれます。

どうか皆様には、各所属での柔道の安全指導を隅々までご周知いただくようお願いいたします。また、事故防止の重要性をご理解いただき開催される全ての大会、行事において安全指導講習等を行い、事故防止の徹底に努めていただくようお願い申し上げます。

なお、安全指導講習の際は、全柔連発行「柔道の安全指導第四版」及び別紙「柔道事故の特徴と対策」をご活用ください。

「元気に家を出た子どもたちの安全を守り、無事に家に帰すのは柔道指導者の義務です」

## 柔道事故の特徴と対策および参考資料

### 1 柔道事故の特徴と対策

- (1) 頭部外傷は大外刈によるものが多く、乱取のみでなく、投げ込みや約束練習でも多発している。初心者には大外刈の投げ込みを受けさせない。
- (2) 体力差、体格差や技能差が大きい場合の練習には特に注意が必要である。
- (3) 中学校1年生、高校1年生の初心者が5月から8月に頭部外傷による障害を負うことが多い。
- (4) 頸椎の事故は、初心者以外にもみられる。低い姿勢からバランスを失った内股等、前屈した姿勢からの背負投・袖釣込腰、無理な巻き込み技は徹底して矯正する。
- (5) 寝技の攻防でも頸椎の事故は起こっている。頸椎を痛めるような技や攻め方は行わないよう徹底した指導をする。
- (6) 夏季に多い熱中症を発生させないために WBGT 計を設置し、指導者も体感して休憩や水分補給を行わせる。肥満傾向の者や空腹時、体調不良、疲労感の高い合宿時の練習には特に注意が必要である。
- (7) 合同練習を行う際には、技能差や体力差、体格差には特に留意する。

### 2 安全指導の資料

- (1) 「柔道の安全指導（2015年第四版）」全日本柔道連盟
- (2) 「柔道の安全指導—事故ゼロを目指して—（DVD）」全日本柔道連盟
- (3) 「大外刈による怪我や事故を防ぐために」全日本柔道連盟
- (4) 「柔道事故判例集」全日本柔道連盟
- (5) 「事故防止のための道場掲示資料」全日本柔道連盟より「まいんど」に同封し配布済
- (6) 「初心者の重大事故抑止について」「重大事故発生と事故防止の啓発活動に関するお願い」全日本柔道連盟重大事故総合対策委員会より都道府県柔道連盟に配布済

\*上記(1)～(3) (5) (6) は、全柔連ホームページ下段バナー「安全指導資料」に掲載準備中です。(4) を希望される方は全柔連倫理推進室まで連絡をください。

重大事故・準ずる事故事例（平成28年度）

	日時・場所	受傷者・病名	事故状況	事故後措置
1	4月25日 午後4時40分頃 宮城県高校道場	高校3年生 第4、第5頸椎骨折 脱臼骨折 柔道歴 13年	校内における練習試合中受傷 双方右組み、試合開始後2分くらい、受傷者が袖釣込 腰をかけた。相手も踏ん張り、受傷者は右側面から 相手と一緒に畳に倒れ込み受傷した。	緊急搬送された。入院当初は 会話もできたが、4日目に 高熱が出て、意識がなくな り、5月10日死亡した。
2	5月31日 午後6時20分頃 群馬県中学道場	中学3年生 急性硬膜下血腫 柔道歴2年2ヶ月	約束稽古中受傷 大内刈から大外刈への連続技への約束稽古中、投げ られ、頭を打ち受傷した。 受傷者48kg、相手117kgであった。	緊急搬送し、緊急手術を受け た。9月23日現在、握手をし ようと言えば手を出す。足を上 げてと言えば足を上げる。
3	6月25日 午後・時・分頃 愛知県柔道場	社会人（45歳） 柔道歴20年 急性硬膜下血腫	道場における稽古中受傷（警察調査） 柔道クラブにおける練習中、頭を打ち受傷した。 更衣室で「実は頭を打ち気分が悪い」と供述して いる。	更衣室で気分が悪くなり、1階 ソファで休み、トイレで倒れ た。緊急搬送され7月5日死亡 した。
4	8月7日 午前10時40分頃 栃木県中学道場	中学1年生 柔道歴4ヶ月 外傷性くも膜下 出血	約束稽古中受傷 受傷者は、3年生と組み、3年生が1年生に教える 形で大外刈を実施した。その際に背中から落ち、 受身を取り、その勢いで後頭部を打ち受傷した。	緊急搬送された。 8月16日意識が回復した。 9月13日塩原温泉病院に転 院、自立歩行でバランスとる、 自転車ペダルをこぐ、折紙する 訓練をしている。
5	8月19日 午後8時30分頃 青森県柔道場	中学1年生（女） 柔道歴4ヶ月 急性硬膜下血腫	乱取中受傷 受傷者は、小6男と乱取り中、相手が小内刈を掛け、 尻餅をつき、背中、後頭部と畳についた。その後、 頭が痛い、座り込み、意識が混濁した。 受傷者は、7月下旬に頭痛がし、8月4日病院へ行 くが、専門医が不在で診察を受けられなかった。そ の後、痛みが消え、練習を再開した。	緊急手術が行われ成功した。 医師からすでに脳の損傷があ ったのではとの説明があった。 9月12日現在、意識あり、会 話もできる。歩行できる。食事 も一人でできる。